



**飛躍への挑戦！**  
**高知県産業振興計画**

平成31年度嶺北地域アクションプランの  
追加、削除、拡充等（予定項目）について

嶺 北 地 域 本 部

平成31年2月8日（金）



地域アクションプランの動向

H30年度 238 → H31年度 238

地 域	H30年度 (第3期ver.3)	H31年度 (第3期ver.4)				
	AP数 H30.9.14時点	追 加	削 除	統 合 分 割	小 計	AP数
安 芸	31	1	0	(2→1) ▲ 1	0	31
物部川	28	0	0	0	0	28
高知市	30	0	0	0	0	30
嶺 北	24	0	0	0	0	24
仁淀川	37	0	0	0	0	37
高 幡	41	1	▲ 1	0	0	41
幡 多	47	0	0	0	0	47
合 計	238	2	▲ 1	▲ 1	0	238

# 嶺北地域アクションプラン項目（第3期計画ver.3（H30年度）と

No.	平成30年度	本山町	大豊町	土佐町	大川村
		17	17	17	14
1	れいほくブランドの園芸産地の維持	●	●	●	●
2	JA出資型法人((株)れいほく未来)を核とする地域活性化の取組	●	●	●	●
3	ユズ産地の確立と加工・販売の促進	●	●	●	
4	天空の郷ブランドによる地域活性化の取組	●			
5	(株)大豊ゆとりファームを核として地域資源の活用により地域産業を持続化させる取組		●		
6	土佐あかうしの競争力の確保による肉用牛産業の再興	●	●	●	
7	土佐はちきん地鶏・大川黒牛を活用した畜産業の活性化				●
8	嶺北地域における林業クラスター化の取組	●	●	●	●
9	れいほくスケルトン(嶺北材の邸別販売)の促進及び建築人材の育成	●	●	●	●
10	特用林産物(シキミ、サカキ)の販売促進	●	●	●	●
11	嶺北地域の特産品販路拡大への支援	●	●	●	●
12	クラウドファンディングを活用した地域活性化	●	●	●	●
13	ぼうむ合同会社による地域資源(木材・米)活用の取組	●			
14	碁石茶を中心とした加工品ビジネスの展開		●		
15	嶺北材を活かしたオリジナル木工品の製造・販売による地域活性化			●	
16	嶺北地域で140年続く酒蔵の地産外商を核とした地域の活性化			●	
17	嶺北地域の連携による交流人口の拡大	●	●	●	●
18	嶺北広域観光アウトドアの里づくり	●	●	●	●
19	嶺北地域における山岳観光の拠点整備	●	●	●	●
20	さめうら湖の活用をはじめとしたスポーツ・ツーリズムの振興	●	●	●	●
21	嶺北地域の連携による移住促進の取組	●	●	●	●
22	学生・若者と地域の連携による事業創出支援プラットフォーム「ONEれいほく」の構築	●	●	●	●
23	大豊町西峯地区におけるビジネス創出による地域活性化の取組		●		
24	集落活動センターいしはらの里による地域活性化の取組			●	

# 第3期計画Ver.4 (H31年度) の対比表

【嶺北地域】

本山町	大豊町	土佐町	大川村	No.	平成31年度
17	17	17	14		
●	●	●	●	1	れいほくブランドの園芸産地の維持
●	●	●	●	2	JA出資型法人((株)れいほく未来)を核とする地域活性化の取組
●	●	●		3	ユズ産地の確立と加工・販売の促進
●				4	天空の郷ブランドによる地域活性化の取組
	●			5	(株)大豊ゆとりファームを核として地域資源の活用により地域産業を持続化させる取組
●	●	●		6	土佐あかうしの競争力の確保による肉用牛産業の再興
			●	7	土佐はちきん地鶏・大川黒牛を活用した畜産業の活性化
●	●	●	●	8	嶺北地域における林業クラスター化の取組
●	●	●	●	9	れいほくスケルトン(嶺北材の邸別販売)の促進及び建築人材の育成
●	●	●	●	10	特産林産物(シキミ、サカキ)の販売促進
●	●	●	●	11	嶺北地域の特産品販路拡大への支援
●	●	●	●	12	クラウドファンディングを活用した地域活性化
●				13	ぼうむ合同会社による地域資源(木材・米)活用の取組
	●			14	碁石茶を中心とした加工品ビジネスの展開
		●		15	嶺北材を活かしたオリジナル木工品の製造・販売による地域活性化
		●		16	嶺北地域で140年続く酒蔵の地産外商を核とした地域の活性化
●	●	●	●	17	嶺北地域の連携による交流人口の拡大
●	●	●	●	18	嶺北広域観光アウトドアの里づくり
●	●	●	●	19	嶺北地域における山岳観光の拠点整備
●	●	●	●	20	さめうら湖の活用をはじめとしたスポーツ・ツーリズムの振興
●	●	●	●	21	嶺北地域の連携による移住促進の取組
●	●	●	●	22	学生・若者と地域の連携による事業創出支援プラットフォームの構築
	●			23	大豊町西峯地区におけるビジネス創出による地域活性化の取組
		●		24	集落活動センターいしはらの里による地域活性化の取組

拡充



嶺北地域アクションプランの追加・削除・拡充等（予定項目）

■追加 なし

■削除 なし

■その他(拡充、統合、分割)

NO.	アクションプラン名	見直しする内容
1	No.20 さめうら湖の活用をはじめとしたスポーツツーリズムの振興（嶺北地域全域） 【実施主体】民間事業者（NPO 法人さめうらプロジェクト）等、土佐町、大川村、本山町、大豊町	【拡充】主な内容に、カヌーに適した環境を活かしたスポーツツーリズムの振興を追加する。

修正項目(案)

【嶺北地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
20	<p>さめうら湖の活用をはじめとしたスポーツツーリズムの振興</p> <p>《嶺北地域全域》</p> <p>地域産業クラスター関連(嶺北畜産クラスターによる地域の活性化)</p>	<p>・民間事業者(NPO法人さめうらプロジェクト)等</p> <p>・土佐町</p> <p>・大川村</p> <p>・本山町</p> <p>・大豊町</p>	<p>アクションプランの取組開始:H21</p> <p>・モニターツアーの実施(H22~28)</p> <p>・スポーツフィッシング大会の開催(H22~)</p> <p>・PR活動(H21~)</p> <p>・研修会等への参加(H21~)</p> <p>・地域(出身)学生等との連携事業(H22~)</p> <p>・NPO法人さめうらプロジェクト設立(H24)</p> <p>・さめうら湖の利用に関する検討委員会(H23~24)</p> <p>・さめうら荘建設検討委員会(H25~28)</p> <p>・役場内ワーキンググループによる基本設計案等の検討(H28)</p> <p>・カヌーのまち嶺北(土佐町・本山町)推進協議会(H29)</p> <p>◆さめうらプロジェクトを中心に、さめうら湖を利用した交流事業等が構築され、地域(出身)学生との連携や各種利用メニューなど、一定のかたちができてきている。しかし、湖面でのアクティビティについては実施コストの高さや、気象条件等により安定した湖面利用が難しいことなどから、本格的な事業化には課題が多い。</p> <p>H28には活動フィールドの拡大に向け、さめうら湖畔でのロードバイクの取組を開始した。高知工大サイクリング部等とも連携し、モニター大会を開催するなど、一定の成果が上がっている。</p> <p>◆土佐町ではH23から、さめうら湖の利用に関する検討委員会が開催され、水をキーワードにした観光振興案が示された。H25からは新たに、さめうら荘建設検討委員会が組織され、上記観光振興の具体化とさめうら荘の改修について検討が進められた結果、H29にさめうら荘の建て替え工事が着工。H30年度に完成する予定である。</p> <p>◆H29から新たにカヌー指導者を招致し、さめうら湖を活用したスポーツツーリズムの推進体制を構築するとともに、さめうら湖のPRにも貢献した。</p>	<p>・嶺北内町村の連携による事業の展開</p> <p>・年間を通して利用者が訪れる取組の構築</p> <p>・地域経済へ波及効果が生まれる仕組みづくり</p>	<p>◆さめうら荘建設検討委員会等:早明浦湖を核とした交流人口の拡大及び環境整備(さめうら荘の建設等)</p> <p>◆嶺北地域におけるサイクリングを通じた交流人口拡大の取組</p>

修正前



【嶺北地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
20	<p>さめうら湖の活用をはじめとしたスポーツツーリズムの振興</p> <p>《嶺北地域全域》</p> <p>地域産業クラスター関連(嶺北畜産クラスターによる地域の活性化)</p>	<p>・民間事業者(NPO法人さめうらプロジェクト)等</p> <p>・土佐町</p> <p>・大川村</p> <p>・本山町</p> <p>・大豊町</p>	<p>アクションプランの取組開始:H21</p> <p>・モニターツアーの実施(H22~28)</p> <p>・スポーツフィッシング大会の開催(H22~)</p> <p>・PR活動(H21~)</p> <p>・研修会等への参加(H21~)</p> <p>・地域(出身)学生等との連携事業(H22~)</p> <p>・NPO法人さめうらプロジェクト設立(H24)</p> <p>・さめうら湖の利用に関する検討委員会(H23~24)</p> <p>・さめうら荘建設検討委員会(H25~28)</p> <p>・役場内ワーキンググループによる基本設計案等の検討(H28)</p> <p>・カヌーのまち嶺北(土佐町・本山町)推進協議会(H29)</p> <p>・さめうら湖周辺整備基本計画策定(H30)</p> <p>・ワカサギフィッシング大会の開催(H30~)</p> <p>◆さめうらプロジェクトを中心に、さめうら湖を利用した交流事業等が構築され、地域(出身)学生との連携や各種利用メニューなど、一定のかたちができてきている。しかし、湖面でのアクティビティについては実施コストの高さや、気象条件等により安定した湖面利用が難しいことなどから、本格的な事業化には課題が多い。</p> <p>H28には活動フィールドの拡大に向け、さめうら湖畔でのロードバイクの取組を開始した。高知工大サイクリング部等とも連携し、モニター大会を開催するなど、一定の成果が上がっている。</p> <p>◆土佐町ではH23から、さめうら湖の利用に関する検討委員会が開催され、水をキーワードにした観光振興案が示された。H25からは新たに、さめうら荘建設検討委員会が組織され、上記観光振興の具体化とさめうら荘の改修について検討が進められた結果、H29にさめうら荘の建て替え工事が着工し、H30年9月末に竣工。その後、12月末にプレオープン。H31年4月からグランドオープンした。</p> <p>◆H29から新たにカヌー指導者を招致し、さめうら湖を活用したスポーツツーリズムの推進体制を構築するとともに、さめうら湖のPRにも貢献した。</p> <p>◆H29から新たに招聘したカヌー指導者や地元おこし協力隊を中心にさめうら湖へのカヌー合宿型取組活動を実施し、H30年度から受入れを開始した。</p> <p>◆H30には浮橋、レーン、伴走艇を導入し、湖面を活用した交流人口の拡大に向けた環境が構築に整いつつある。</p>	<p>・嶺北内町村の連携による事業の展開</p> <p>・年間を通して利用者が訪れる取組の構築</p> <p>・地域経済へ波及効果が生まれる仕組みづくり</p>	<p>◆カヌーに適した環境を活かしたスポーツツーリズムの振興</p> <p>◆嶺北地域におけるサイクリングを通じた交流人口拡大の取組</p>

修正後



第3期計画					指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)
<p>さめうら荘建設検討委員会等:さめうら湖を核とした交流人口の拡大及び環境整備(さめうら荘の建設等)</p> <p>検討委員会等による事業内容の検討・選定</p> <p>検討委員会等の検討を踏まえ、さめうら荘の改修等</p> <p>試行事業の実施</p> <p>環境整備</p> <p>さめうら湖を核とした、土佐町観光・交流資源等の一体的活用</p> <p>事業展開</p> <p>カヌー指導者の招致</p> <p>さめうら湖を活用した合宿等の誘致</p>					さめうら荘利用者(宿泊・レストラン)数 (H22:2万人) (H26:2万人)	2.5万人
<p>嶺北地域におけるサイクリングを通じた交流人口拡大の取組</p> <p>自転車関係者等のネットワーク強化、体制の確立</p> <p>嶺北地域のサイクリングコース・プランづくり</p> <p>環境整備</p> <p>試行的実施</p> <p>事業展開</p>						



第3期計画					指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)
<p>さめうら荘建設検討委員会等:さめうら湖を核とした交流人口の拡大及び環境整備(さめうら荘の建設等)</p> <p>検討委員会等による事業内容の検討・選定</p> <p>検討委員会等の検討を踏まえ、さめうら荘の改修等</p> <p>試行事業の実施</p> <p>環境整備</p> <p>さめうら湖を核とした、土佐町観光・交流資源等の一体的活用</p> <p>事業展開</p> <p>カヌーに適した環境を活かしたスポーツツーリズムの振興</p> <p>基本計画、基本設計、実施設計等の策定</p> <p>艇庫の整備</p> <p>カヌー指導者の招致</p> <p>さめうら湖を活用した合宿等の誘致</p>					さめうら荘利用者(宿泊・レストラン)数 (H22:2万人) (H26:2万人)	2.5万人
<p>カヌーに適した環境を活かしたスポーツツーリズムの振興</p> <p>基本計画、基本設計、実施設計等の策定</p> <p>艇庫の整備</p> <p>カヌー指導者の招致</p> <p>さめうら湖を活用した合宿等の誘致</p>					交流人口 (H29:3,000人)	3,800人
<p>嶺北地域におけるサイクリングを通じた交流人口拡大の取組</p> <p>自転車関係者等のネットワーク強化、体制の確立</p> <p>嶺北地域のサイクリングコース・プランづくり</p> <p>環境整備</p> <p>試行的実施</p> <p>事業展開</p>						

修正項目(案)

【嶺北地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
<p>13 ぼうむ合同会社による地域資源(木材・米)活用の取組</p> <p>【本山町】</p> <p>地域産業クラスター関連(嶺北地域の林業クラスターによる地域の活性化)</p>	<p>嶺北産材やブランド米などの地域資源を活用し、新たな産業を生み出す活動を通じて、地域の活性化を目指す。</p>	<p>・ぼうむ合同会社 ・本山町</p>	<p>アクションプランの取組開始:H21 &lt;木材製品の製造・販売&gt; ・杉柵目フリーパネルや学習机等の製造販売(H21~) ・レーザー加工機の導入による「もくレース」等オリジナル木製雑貨の開発と製造販売(H22~) ・木工教室や親子学習机づくり体験ツアー等の実施(H22~) ・インターネットや県外への営業による販路拡大・PR活動(H21~) ・クラウドファンディングによる資金調達・企業PR(H26~27) ・産業振興推進総合支援事業費補助金を活用したレーザー加工機の増設・工場の拡張(H28) ・生産管理等を担う管理職の配置(H28) ◆レーザー加工したオリジナル木製雑貨が評価を得て、ノベルティグッズ等を受注し、売上増につながった。 ◆レーザー加工機の増設・工場の拡張により、増産体制が整った。 ◆親子学習机づくり体験ツアーが好評でツアーを増設するなど、嶺北産材のPR、交流人口の拡大に資することができた。</p>	<p>&lt;木材製品の製造・販売&gt; ・生産体制が脆弱 ・売上のさらなる増加</p>	<p>◆生産性の向上</p> <p>◆販路拡大・PR活動</p> <p>◆商品開発</p>
<p>修正前</p>			<p>&lt;米焼酎の製造・販売&gt; ・産業振興推進総合支援事業費補助金を活用した地元ブランド米加工品「米焼酎」の製造施設の整備(H24) ・米焼酎(玄米仕込)の製造販売(H26.2月) ・卸・小売業者、飲食店への営業及び出展販売(H26~) ・米焼酎(白米仕込)の製造販売(H28.1月) ・沖縄以外で初となる泡盛の製造販売(H28.6月) ・クラウドファンディングを活用した「ワンカップ泡盛」の製造販売(H28~29) ・焼酎・泡盛の新商品開発に着手(H29) ◆泡盛の新発売を機に販売額が増加した。</p>	<p>&lt;米焼酎の製造・販売&gt; ・売上の増加 ・認知度の向上</p>	<p>◆販路拡大・PR活動</p> <p>◆新商品の開発</p>



【嶺北地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
<p>13 ぼうむ合同会社による地域資源(木材・米)活用の取組</p> <p>【本山町】</p> <p>地域産業クラスター関連(嶺北地域の林業クラスターによる地域の活性化)</p>	<p>嶺北産材やブランド米などの地域資源を活用し、新たな産業を生み出す活動を通じて、地域の活性化を目指す。</p>	<p>・ぼうむ合同会社 ・本山町</p>	<p>アクションプランの取組開始:H21 &lt;木材製品の製造・販売&gt; ・杉柵目フリーパネルや学習机等の製造販売(H21~) ・レーザー加工機の導入による「もくレース」等オリジナル木製雑貨の開発と製造販売(H22~) ・木工教室や親子学習机づくり体験ツアー等の実施(H22~) ・インターネットや県外への営業による販路拡大・PR活動(H21~) ・クラウドファンディングによる資金調達・企業PR(H26~27) ・産業振興推進総合支援事業費補助金を活用したレーザー加工機の増設・工場の拡張(H28) ・生産管理等を担う管理職の配置(H28) ◆レーザー加工したオリジナル木製雑貨が評価を得て、ノベルティグッズや県外百貨店での受注が増加した。 ◆レーザー加工機の増設・工場の拡張により、増産体制が整った。 ◆親子学習机づくり体験などにより北産材のPR、交流人口の拡大に資することができた。</p>	<p>&lt;木材製品の製造・販売&gt; ・売上のさらなる増加</p>	<p>◆生産性の向上</p> <p>◆販路拡大・PR活動</p> <p>◆商品開発</p>
<p>修正後</p>			<p>&lt;米焼酎の製造・販売&gt; ・産業振興推進総合支援事業費補助金を活用した地元ブランド米加工品「米焼酎」の製造施設の整備(H24) ・米焼酎(玄米仕込)の製造販売(H26.2月) ・卸・小売業者、飲食店への営業及び出展販売(H26~) ・米焼酎(白米仕込)の製造販売(H28.1月~) ・沖縄以外で初となる泡盛の製造販売(H28.6月~) ・クラウドファンディングを活用した「ワンカップ泡盛」の製造販売(H28~29) ・泡盛新商品(玄米&amp;白米仕込)の限定販売(H30.6月~) ◆輸出を行う卸業者との取引が成立し、H30.7月、シンガポールに初出荷。海外展開の第一歩を踏み出した。</p>	<p>&lt;米焼酎の製造・販売&gt; ・売上の増加 ・認知度の向上</p>	<p>◆販路拡大・PR活動</p> <p>◆商品開発</p>

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
生産性の向上					木工製品全般の売上高 (H19: -) (H23: 25,000千円) (H26: 33,000千円)	89,000千円	
		品質確保・生産拡大・安定供給に向けた取組					
施設設備整備							
販路拡大・PR活動					焼酎の販売額 (H26: 4,655千円)	19,590千円	
		県内外の企業・消費者に向けた多様な手法による販売促進・PR活動					
		商品開発		新商品・新ブランドの開発			
販路拡大・PR活動					焼酎の販売額 (H26: 4,655千円)	19,590千円	
		県内外の販売業、飲食店、消費者に向けた多様な手法による販売促進・PR活動					
新商品の開発			新商品の開発				



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
生産性の向上					木工製品全般の売上高 (H19: -) (H23: 25,000千円) (H26: 33,000千円)	89,000千円	
		品質確保・生産拡大・安定供給に向けた取組					
施設設備整備							
販路拡大・PR活動					焼酎の販売額 (H26: 4,655千円)	19,590千円	
		県内外の企業・消費者に向けた多様な手法による販売促進・PR活動					
		商品開発		新商品・新ブランドの開発			
販路拡大・PR活動					焼酎の販売額 (H26: 4,655千円)	19,590千円	
		県内外の販売業、飲食店、消費者に向けた多様な手法による販売促進・PR活動					
				海外への販路拡大			
商品開発					焼酎の販売額 (H26: 4,655千円)	19,590千円	
		新商品の開発					



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
観光・交流人口の誘致事業	地域情報の充実と効果的な情報発信 ・ターゲット地域の旅行会社に対する販売促進活動 ・地域産品の販売イベント等との共催による量販店や街頭での観光PR ・旅行会社とタイアップした旅行商品の開発や販売促進活動や県外企業に対する企業研修及びCSR活動、福利厚生事業用プラン(体験プログラム)のセールス				公共関連宿泊施設での宿泊者数 (H19: 8,975人) (H22: 9,687人) (H26: 11,461人)	29,000人	
広域観光推進体制の強化	プラットフォームづくりに向けた検討	観光産業化方針、中長期計画の策定	事務局体制の構築				
町村、関係団体、県等との協議及び、人材育成も含めた機能強化							
教育旅行の受皿となる民泊の推進	地域の活動者や行政との連携による研修会の実施 旅行会社等への教育旅行のセールス				民泊受入世帯数 (H26: 49世帯)	120世帯	
嶺北地域における地域博覧会の開催 開催に向けた検討 博覧会推進協議会の立ち上げ 博覧会推進協議会の運営 事業計画の策定 博覧会の準備 博覧会の開催							



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
観光・交流人口の誘致事業	地域情報の充実と効果的な情報発信 ・ターゲット地域の旅行会社に対する販売促進活動 ・地域産品の販売イベント等との共催による量販店や街頭での観光PR ・旅行会社とタイアップした旅行商品の開発や販売促進活動や県外企業に対する企業研修及びCSR活動、福利厚生事業用プラン(体験プログラム)のセールス				公共関連宿泊施設での宿泊者数 (H19: 8,975人) (H22: 9,687人) (H26: 11,461人)	29,000人	
広域観光推進体制の強化	プラットフォームづくりに向けた検討	観光産業化方針、中長期計画の策定	事務局体制の構築				
町村、関係団体、県等との協議及び、人材育成も含めた機能強化							
教育旅行の受皿となる民泊の推進	地域の活動者や行政との連携による研修会の実施 旅行会社等への教育旅行のセールス				民泊受入世帯数 (H26: 49世帯)	120世帯	
嶺北地域における地域博覧会の開催 開催に向けた検討 博覧会推進協議会の立ち上げ 博覧会推進協議会の運営 事業計画の策定 博覧会の準備 博覧会の開催							
					※土佐れいほく博関連の指標及び目標値については、現在調整中。		
					主要観光施設等入込数(H27~H29平均)	左記指標の20%増 (うち大原富枝文学館: 4,500人)	
					主要宿泊施設宿泊者数(H27~H29平均)	左記指標の10%増	

# 修正項目(案)

## 【嶺北地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
19 嶺北地域における山岳観光の拠点整備 《嶺北地域全域》  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">修正前</div>	四国山脈、吉野川、さめうら湖といった自然の資源を活かし、嶺北地域を中心として、近隣エリアの資源をつなぎ、自然や人とのふれあい・交流を深める新たな観光コンテンツをつくり、交流人口の拡大を目指す。	・大川村 ・(一社)大川村ふるさとむら公社 ・本山町 ・大豊町 ・土佐町	アクションプランの取組開始:H28 ・モニターツアーを通じた体験プログラムの磨き上げ(H28～) ・白滝の里観光交流基本構想策定委員会及び白滝の里観光交流基本構想ワークショップの開催(H28) ・石鎚山系連携事業協議会との連携(H29～) ・大川村プロジェクト観光・交流部会の開催(H26～)	・運営主体の体制の強化に必要な人材の確保	◆地域資源を活用した体験プログラムの開発と磨き上げ          ◆白滝の里再整備



## 【嶺北地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
19 嶺北地域における山岳観光の拠点整備 《嶺北地域全域》  <div style="background-color: black; color: white; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">修正後</div>	四国山脈、吉野川、さめうら湖といった自然の資源を活かし、嶺北地域を中心として、近隣エリアの資源をつなぎ、自然や人とのふれあい・交流を深める新たな観光コンテンツをつくり、交流人口の拡大を目指す。	・大川村 ・(一社)大川村ふるさとむら公社 ・本山町 ・大豊町 ・土佐町	アクションプランの取組開始:H28 ・モニターツアーを通じた体験プログラムの磨き上げ(H28～) ・白滝の里観光交流基本構想策定委員会及び白滝の里観光交流基本構想ワークショップの開催(H28) ・石鎚山系連携事業協議会との連携(H29～) ・大川村プロジェクト観光・交流部会の開催(H26～) ・地域おこし協力隊(ウェブデザイン担当、観光担当)の採用(H30) ・白滝の里施設改修基本計画の策定(H30)	・運営主体の体制の強化に必要な人材の確保	◆地域資源を活用した体験プログラムの開発と磨き上げ          ◆白滝の里再整備

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
地域資源を活用した体験プログラムの開発と磨き上げ					→	白滝の里施設利用者数 (H26:6,175人)	15,000人
体験プログラム(ロゲイニング、ロングトレイル、環境学習等)の開発・試行		体験プログラムの磨き上げ、受入体制の整備					
運営主体の体制強化		インストラクターの養成					
地域情報も含めた情報発信、企業等への営業活動							
白滝の里再整備					→		
基本構想の策定	基本計画の策定に向けた検討	基本計画、基本設計、実施設計等の策定		施設改修等			



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
地域資源を活用した体験プログラムの開発と磨き上げ					→	白滝の里施設利用者数 (H26:6,175人)	15,000人
体験プログラムの開発・試行・磨き上げ・受入体制の整備							
運営主体の体制強化		インストラクターの養成					
地域情報も含めた情報発信、企業等への営業活動							
白滝の里再整備					→		
基本構想の策定	基本計画の策定に向けた検討	基本計画、基本設計、実施設計等の策定		施設改修等			

## 修正項目(案)

### 【嶺北地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
22 学生・若者と地域の連携による事業創出支援プラットフォーム「ONEれいほく」の構築 《嶺北地域全域》  修正前	県内大学のOBや学生たちが中心となって、若者と地域をつなぐ組織を構築し、地域活性化の具体的な企画・提案を行うとともに、地域からの協力要請(イベント、移住促進、学習支援等)にも応じる仕組みをつくることで地域への若者の流入・定着を目指す。	・NPO法人ONEれいほく ・高知大学 ・嶺北高校 ・本山町 ・大豊町 ・土佐町 ・大川村	アクションプランの取組開始:H28 ・NPO法人登記(H28.6月) ・若者が集う拠点の運営・イベントの開催(H28~) ・地域活性化に資する市町村事業等の受託(H28~) ・FAAVO高知サブオーナー会議事務局として地域活性化プロジェクトの企画等を支援(H28~) ・ONEれいほくの活動や田舎暮らしを体験するインターンシップ事業を開始(H29)  ◆ONEれいほくの活動に関わった若者が多数移住するなど、嶺北地域への若年層の流入に大きく寄与した。	・ONEれいほくの強みを生かした地域活性化プロジェクトの実施  ・活動財源の確保	◆プロジェクトの企画・実施    ◆活動財源の検討・資金調達



### 【嶺北地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
22 学生・若者と地域の連携による事業創出支援プラットフォームの構築 《嶺北地域全域》  修正後	県内大学のOBや学生たちが中心となって、若者と地域をつなぐ組織を構築し、地域活性化の具体的な企画・提案を行うとともに、地域からの協力要請(イベント、移住促進、学習支援等)にも応じる仕組みをつくることで地域への若者の流入・定着を目指す。	・NPO法人ひとまき ・高知大学 ・嶺北高校 ・本山町 ・大豊町 ・土佐町 ・大川村	アクションプランの取組開始:H28 ・NPO法人登記(H28.6月) ・若者が集う拠点の運営・ワークショップ等の開催(H28~) ・地域活性化に資する市町村事業等の受託(H28~29) ・FAAVO高知サブオーナー会議事務局として地域活性化プロジェクトの企画等を支援(H28~29) ・NPO法人の活動や田舎暮らしを体験するインターンシップ事業の実施(H29~)  ◆NPO法人の活動に関わった若者が多数移住するなど、嶺北地域への若年層の流入に大きく寄与した。	・NPO法人の強みを生かした地域活性化プロジェクトの実施  ・活動財源の確保	◆プロジェクトの企画・実施    ◆活動財源の検討・資金調達



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
プロジェクトの企画・実施					→	プロジェクト数 (H27:0件)	7件
実施体制の確立							
行政や地域企業等への企画・提案及びニーズとのマッチング							
拠点事業、情報発信事業、教育・交流事業、イベント・移住促進等							
活動財源の検討・資金調達					→		
収益事業や資金調達方法の検討・実施							



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
プロジェクトの企画・実施					→	プロジェクト数 (H27:0件)	7件
実施体制の確立							
行政や地域企業等への企画・提案及びニーズとのマッチング							
インターンシップ事業、ワークショップ等の実施							
活動財源の検討・資金調達					→		
収益事業や資金調達方法の検討・実施							

# 修正項目(案)

## 【嶺北地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
24 集落活動センターいしはらの里による地域活性化の取組 《土佐町》	石原コミュニティセンターを活用し、石原地区の山林をフィールドとした林業研修「森の教習所」をはじめ、交流人口の拡大や地元木材を活用した住宅プロジェクトを実施することにより、集落活動センターの収益向上を図る。	・いしはらの里協議会 ・合同会社いしはらの里 ・土佐町 ・民間事業者((株)FPI)等	アクションプランの取組開始:H28  ・研修内容の検討(H28) ・受入体制の整備(H28) ・林業研修の実施(H29)	・研修生の確保  ・研修内容の拡充  ・コーディネーター人材の確保	◆交流人口の拡大  ◆宿泊施設整備・運営  ◆住宅プロジェクトの実施  ◆嶺北の山林をフィールドとした「森の教習所」による担い手育成の取組

修正前



## 【嶺北地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
24 集落活動センターいしはらの里による地域活性化の取組 《土佐町》	石原コミュニティセンターを活用し、石原地区の山林をフィールドとした林業研修「森の教習所」をはじめ、交流人口の拡大や地元木材を活用した住宅プロジェクトを実施することにより、集落活動センターの収益向上を図る。	・いしはらの里協議会 ・合同会社いしはらの里 ・土佐町 ・民間事業者((株)FPI)等	アクションプランの取組開始:H28  ・研修内容の検討(H28) ・受入体制の整備(H28) ・林業研修の実施(H29) ・ <u>宿泊施設の整備(H30)</u>	・ <u>宿泊事業の人材確保</u>  ・ <u>宿泊客の確保</u>  ・研修生の確保  ・研修内容の拡充  ・コーディネーター人材の確保	◆交流人口の拡大  ◆宿泊施設整備・運営  ◆住宅プロジェクトの実施  ◆嶺北の山林をフィールドとした「森の教習所」による担い手育成の取組

修正後

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
	交流人口の拡大 試行的受入		受入体制整備・本格的な受入		宿泊者数(延べ) (H28:0人)	500人	
	宿泊施設整備・運営 改修の検討	改修	施設の運営				
	住宅プロジェクトの実施 モデルハウス建築・PR・貸し出し		プロジェクトの実施				
	嶺北の山林をフィールドとした「森の教習所」による担い手育成の取組 内容の検討 各種許認可、届出等手続き 受入体制の整備		研修内容の拡充		林業研修者 (H27:0人)	60人(H28～31累計)	
	試行的実施						



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
	交流人口の拡大 試行的受入		受入体制整備・本格的な受入 体験メニューの作成・情報発信		宿泊者数(延べ) (H28:0人)	500人	
	宿泊施設整備・運営 改修の検討	設計・改修	施設の運営 運営体制の検討 宿泊事業等の情報発信				
	住宅プロジェクトの実施 モデルハウス建築・PR・貸し出し		プロジェクトの実施				
	嶺北の山林をフィールドとした「森の教習所」による担い手育成の取組 内容の検討 各種許認可、届出等手続き 受入体制の整備		研修内容の拡充		林業研修者 (H27:0人)	60人(H28～31累計)	
	試行的実施						